

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[44]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[4]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	負傷者を救急車に収容するため、路側帯を歩行中、別件追突事故により追突された車両が歩行中の隊長に接触し負傷したもの。	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。後方からの監視の目が行き届いていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

署所において担当者会を開き、事故対策の徹底や隊員への注意を図った。

○装備・資機材の対策について

救急自動車の後部に赤色点滅灯の増設を行った。

○活動環境の対策について

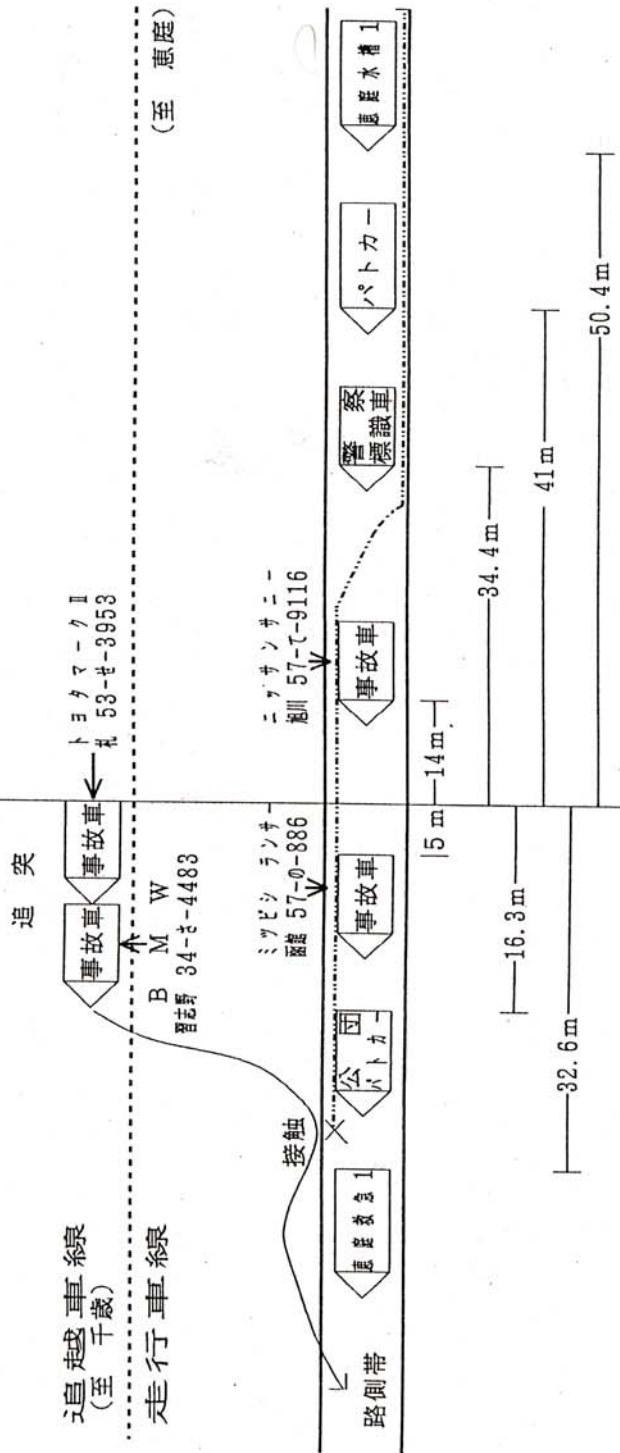
事故後、高速自動車道北海道連絡連絡協議会を通じて、日本道路公団（現 JH 北海道支社）、北海道警察高速機動隊、消防の3機関が協議を行い、災害現場での交通規制の範囲拡大や、各機関の情報の共有化を行うことを取り決めて、再発防止に向けて徹底周知が図られた。

○指揮・情報伝達の対策について

高速道路上の事故発生に救急隊と同時出動する後方支援隊と更なる連携強化を図った。

中央分離帯 交通二次災害発生時の状況

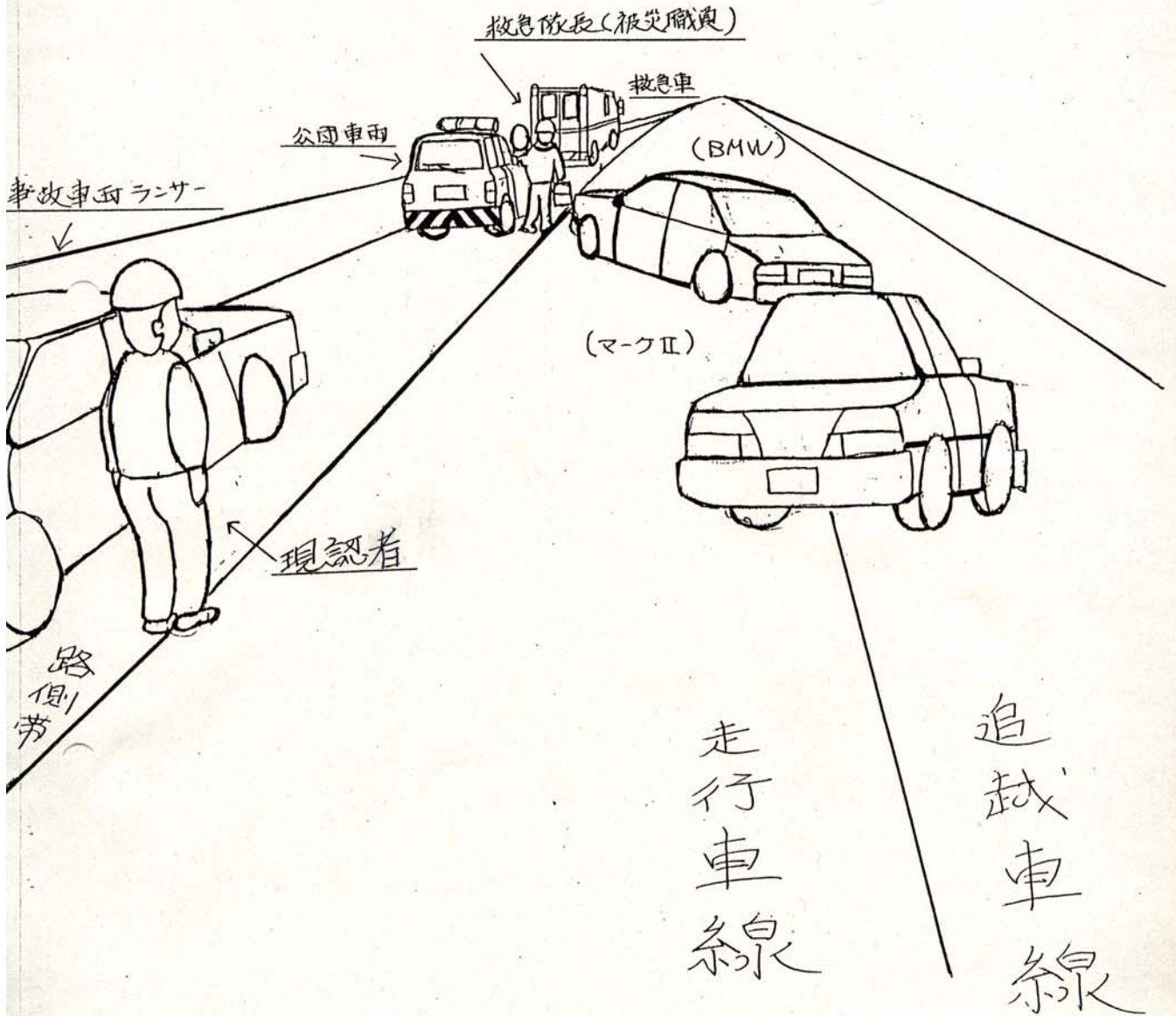
34.7KP



..... 救急隊長 菅原司令補の移動経路
 —— 事故車両の蛇行経路
 ※ 事故車両等の距離は、警察計測数値

別添.

災害発生状況図



(説明)

救急活動中、傷病者を救急車へ誘導中の
追越車線を走行中の車両2台が接触し、
その反動で、路側帯を歩行中の救急隊長へ
接触したとの。